

第4回CPC

「腎移植後に多発性脳腫瘍を認めた1例」

開催日：平成19年4月18日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

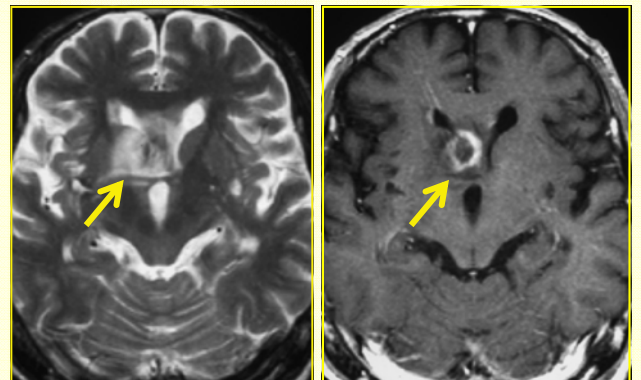
関連科：腎臓内科、泌尿器科、脳神経外科、血液免疫内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、リハビリ科、臨床病理学

司会：松井 真 先生（神経内科）

伊川 廣道 先生（小児外科）

ミニレクチャー：浅香 充宏 先生（腎臓内科）

症例：50歳代 男性
現病歴と経過：腎不全のため15年間の血液透析後、献腎移植を2年前に受けた。術後、拒絶反応、サイトメガロウイルス感染症、高カルシウム血症等がみられた。1年前に全身痙攣が出現し、脳内に腫瘍性病変を認めた（右はT2WIとGd造影）。肺炎を併発し、脳浮腫が著明となり、永眠された。



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は「移植とその問題点」に関するミニレクチャーも予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）